

○ 長野市立 川中島小学校 ○

(ホームページ : <http://www.nagano-ngn.ed.jp/kawanajs/>)

長野市立川中島小学校は、近代学校として全国で二番目、長野県では最も古い歴史と伝統を持っている学校で、本年度創立155年を迎えました。

- 明治2年に創立された日新館の精神を受け継ぎ、日新教育として生活科や総合的な学習の時間に取り組んでいます。日新館(今里郷校)の校門として使用された上田藩塩崎の陣屋門は、その後千曲市に移転されていましたが、令和3年、地域の方々のご尽力により約150年ぶりに本校校庭に移転・復元されました。
- 学校の中には『日新館』という教室があり、学校の昔の写真や資料が展示してあります。
- 川中島というと、武田信玄と上杉謙信が戦った「川中島の合戦」で有名ですが、古戦場からは離れています。学校の周辺では、桃作りが盛んで、春には美しい川中島白桃の花が咲きます。古くからの農業が盛んな地ですが、新しく住宅地に開発されている地区もあります。



【校章】

上下の三角角は、川中島のシンボルであり農産物の第一であった小麦の花を表している。「小」の字を囲む三角は、川中島三区を表していて堅く輪で結ばれている。川中島小学校の児童が、希望と清新の気に満ち、互いに手を取り合って平和を求め、文化を高めていってほしいという願いが込められている。(昭和26年12月6日制定)

【学校規模】 児童数：509名／学級数：22学級／職員数：49名 (R5.6.1現在)

学校経営方針

【校訓】 日新

中国の古典「大学」の「湯之盤銘日、苟日新、日日新、又日新」より(今日の行いは昨日より新しくよくなり、明日の行いは今日よりも新しくよくなるように、修行に心がけねばならぬ…の意)

【学校目標】

日々新たに生きる子どもと教師 ~笑顔と希望あふれる学校~

【めざす子どもの姿】 やさしく かしこく たくましく

- ◎思いやりのある子
- ◎よく考え、進んで学ぶ子
- ◎よく遊びよく働く、がまん強い子

【重点活動】

- 1 心をつなぐ「響き合い」
- 2 心から実感する「学び合い」
- 3 体を鍛え心のみがく「鍛え合い」



正門横に移設された陣屋門

〈重点活動達成に向けての主な取り組み〉

- ◎日々の授業改善
 - ・特別支援教育の視点を取り入れた授業(川小スタンダード)
 - ・一人ひとりのニーズに合わせた支援
 - ・ICT活用による個別最適な学びと協働的な学習の推進
- ◎家庭・地域との連携
 - ・学習習慣の確立(「家庭学習のてびき」等の活用)
 - ・ふるさと川中島から学ぶ学習、体験交流活動
- ◎学年・学級経営の充実
 - ・学校・学年での共通理解のもとで行う指導(職員会・学年会の充実、学年担任制の導入)
 - ・個々の児童との相談の時間(学期に1回位置づけ)

特色ある教育活動

〈日新教育〉ふるさとの人やものに学ぶ

ふるさと学習(総合的な学習・生活科)
地域探検、豆の栽培、桃作り、堰、「霧の川中島」(運動会ダンス)、米作り 等

〈心と体を育てる活動…日課への位置づけ〉

- ・朝の活動…読書、全校音楽、全校運動、ドリル(基礎基本の定着)
- ・パワーアップタイム…5校時前10分間(各学級の特色ある活動)
- ・おはなし玉手箱…地域ボランティアのみなさんによる読み聞かせ(年間16回予定)